

## 欧州特許庁長官が中国を訪問

2013年12月3日  
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州特許庁 (EPO) は、11月29日、バティステリ EPO 長官が中国を訪問し、中国国家知識産権局 (SIPO) 局長と長官会合を実施したほか、中国企業との会談を行ったことを公表した。

本プレスリリースによれば、バティステリ EPO 長官と田 SIPO 局長が今回署名した合意文書には、EPO の EPOQUE 特許検索システムの最新版を SIPO が使用することに加え、2014年の年次作業計画が含まれている。2014年の両庁の取組としては、同じ検索エンジン (EPOQUE) を導入し、同じ分類 (CPC:協力特許分類) を採用し、引用文献情報の適時の交換等に重点を置くとしている。

両庁は2012年12月にも長官会合を開催し、EPOQUE 特許検索システムの利用や CPC の研修を含む、2013年の年次作業計画に合意していた。

また、本プレスリリースでは、バティステリ EPO 長官が、今回の訪中で、中国の出願人のニーズを理解し、特許制度の改善に向けて意見を共有するため、EPO への出願件数上位の中国企業と会談を行なったことも公表された。このほか、バティステリ EPO 長官は、在中国 EU 大使との会合や、欧州産業界との行事にも参加した。

さらに、本プレスリリースでは、バティステリ EPO 長官が、知的財産の分野で中国と欧州の関係を強化した功績により、中国人民大学から名誉教授の地位を授与されたことも公表された。

— EPO による本プレスリリースは、以下参照 —

[7<sup>th</sup> EPO-SIPO meeting of heads brings offices even closer together](#)

— EPO と SIPO との年次作業計画に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 —

[欧州特許庁と中国国家知識産権局、2013年の年次作業計画に署名 \(2012年12月11日\) \(PDF\)](#)

(以上)